2025 年度一般選抜問題 前期 (A 日程)

数 学

(配点と解答例)

第1問 (必答問題) 配点: 30点

点Pが放物線 $y = x^2$ 上を動くとき、2点A(-1, -1), B(2, -5)と点Pを頂点とする $\triangle ABP$ の面積の最小値とそのときの点Pの座標を求めよ。

【解答】 2点A, Bを通る直線を l として、直線 l の方程式は、 $y - (-1) = \frac{-1 - (-5)}{-1 - 2} \{x - (-1)\}$ すなわち、 $4x + 3y + 7 = 0$ となる。ここで、点Pの座標を (t, t^2) 、点Pと直線 l の距離を d とすると、 $d = \frac{|4t + 3t^2 + 7|}{\sqrt{4^2 + 3^2}} = \frac{1}{5} |3t^2 + 4t + 7|$ となる。

また、 $AB = \sqrt{(-1 - 2)^2 + \{-1 - (-5)\}^2} = 5$ より、

$$\triangle ABP = \frac{1}{2} AB \cdot d = \frac{1}{2} |3t^2 + 4t + 7| \text{と表される。}$$

したがって、

$$\begin{aligned} 3t^2 + 4t + 7 &= 3\left(t^2 + \frac{4}{3}t\right) + 7 \\ &= 3\left\{\left(t + \frac{2}{3}\right)^2 - \left(\frac{2}{3}\right)^2\right\} + 7 \\ &= 3\left(t + \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{17}{3} \end{aligned}$$

より、 $\triangle ABP$ は、 $t = -\frac{2}{3}$ のとき、最小値 $\frac{1}{2} \cdot \frac{17}{3} = \frac{17}{6}$

をとり、そのときの点Pの座標は、 $P\left(-\frac{2}{3}, \frac{4}{9}\right) \dots$ (答え)

【別解】 2点A, Bを通る直線を l として、直線 l の方程式は $4x + 3y + 7 = 0$ となる。ここで、点Pを通り、直線 l に平行な直線を m とする。 $\triangle ABP$ において、底辺をABとして、高さが最小となるときは、直線 m が放物線と接するときで、このときの面積も最小となる。したがって、放物線 $y = x^2$ 上の点Pにおける接線の傾きが直線 l の傾きと等しくなるように x の値を定めると、 $y' = 2x = -\frac{4}{3}$ より、 $x = -\frac{2}{3}$ となる。よって、

このときの点Pの座標は、 $P\left(-\frac{2}{3}, \frac{4}{9}\right)$ で、底辺 $AB = 5$ 、

$$\text{高さ} \frac{\left|4 \cdot \left(-\frac{2}{3}\right) + 3 \cdot \left(\frac{4}{9}\right) + 7\right|}{\sqrt{4^2 + 3^2}} = \frac{17}{15} \text{より、} \triangle ABP \text{の面積}$$

は、 $\triangle ABP = \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot \frac{17}{15} = \frac{17}{6} \dots$ (答え)

第2問 (必答問題)

配点: 35点

[1] 三角形の3つの内角の比が3:4:5のとき、3つの内角は小さい順に $180^\circ \times \frac{3}{12}$, $180^\circ \times \frac{4}{12}$, $180^\circ \times \frac{5}{12}$ すなわち, °, °, °となる。

さらに、三角形の3つの辺のうち、2番目に小さい辺の長さが1のとき、残りの2辺を小さい順に a , b と

おくと、正弦定理より、 $\frac{a}{\sin 45^\circ} = \frac{1}{\sin 60^\circ} = \frac{b}{\sin 75^\circ}$ となるから、 $a = \frac{2}{\sqrt{3}} \sin 45^\circ = \frac{\sqrt{\text{}}{\text{}$

となる。また、加法定理より、 $\sin 75^\circ = \sin(30^\circ + 45^\circ) = \sin 30^\circ \cos 45^\circ + \cos 30^\circ \sin 45^\circ$ となるから、

$b = \frac{2}{\sqrt{3}} \sin 75^\circ = \frac{\sqrt{\text{}}{\text{} + \frac{\text{ \sqrt{\text{}}{\text{}$ となる。

[2] $\log_4 25$ の小数部分を a とすると、 $4^2 < 25 < 4^3$ より、 $2 < \log_4 25 < 3$ となるから、 $\log_4 25$ の整数部分は2となる。したがって、 $a = \log_4 25 - 2 = \frac{\log_2 25}{\log_2 4} - 2 = \log_2 \text{ - \text{$ となる。

このとき、 $2^a = 2^{\log_2 5 - 2} = 2^{\log_2 5} \cdot 2^{-2} = \frac{5}{4}$ より、 $2^a + 2^{-a} = \frac{5}{4} + \frac{4}{5} = \frac{\text{ \text{}{\text{ \text{}$ となる。

また、 $5^3 < 2^7$, $2^{23} < 5^{10}$ より、 $\log_2 5^3 < \log_2 2^7$, $\log_2 2^{23} < \log_2 5^{10}$ すなわち、

$\frac{\text{ \text{}{\text{ \text{} < \log_2 5 < \frac{\text{}{\text{}$ となる。したがって、 $2.3 < \log_2 5 < 2.33\cdots$ より、

$0.3 < a < 0.33\cdots$ から、 a の小数第1位は となる。

解答番号	正解	配点	備考
1	4	2	
2	5		
3	6	2	
4	0		
5	7	2	
6	5		
7	6	4	
8	3		
9	6	5	
10	3		
11	2		
12	6		

解答番号	正解	配点	備考
13	5	6	
14	2		
15	4	6	
16	1		
17	2		
18	0		
19	2	3	
20	3		
21	1		
22	0		
23	7	3	
24	3		
25	3	2	

第3問 (学科別問題) (K科志願者選択) 配点: 35点

[1] i を虚数単位とし、複素数 $\alpha = 1 + \sqrt{3}i$ に対して、複素平面上に原点 O と2点 $A(\alpha)$, $B(\alpha^2)$ をとる。このとき、

$|\alpha| = \sqrt{1^2 + (\sqrt{3})^2} = 2$ より、 $OA = \boxed{2}$ となる。また、

$\alpha = 2\left(\cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3}\right)$ より、点 α^2 は、点 α を原点を中心として $\frac{\pi}{3}$ だけ回転し、原点からの距離を2倍した点であるから、

$OB = \boxed{4}$, $\angle AOB = \boxed{3}$ となる。これと $OA : OB = 1 : 2$ より、 $\angle BAO = \boxed{2}$ となるから、円周角の定理より、線分 OB は $\triangle OAB$ の外接円の直径となり、線分 OB の中点が $\triangle OAB$ の外心となる。したがって、 $\triangle OAB$ の外心を表す複素数は、

$\frac{1}{2}\alpha^2 = \frac{1}{2} \cdot 4\left(\cos \frac{2\pi}{3} + i \sin \frac{2\pi}{3}\right) = -\boxed{1} + \sqrt{\boxed{3}}i$ となる。

[2] サイクロイド $x = 2(\theta - \sin \theta)$, $y = 2(1 - \cos \theta)$ ($0 \leq \theta \leq 2\pi$)のグラフを C とし、曲線 C と x 軸で囲まれた部分の面積を S , 曲線 C と x 軸で囲まれた部分が x 軸の周りに1回転してできる回転体の体積を V とする。

$\frac{dx}{d\theta} = y$ と $y = \boxed{4} \sin^2 \frac{\theta}{2}$ に注意すると、

面積 S と体積 V はそれぞれ $S = \int_0^{2\pi} y \frac{dx}{d\theta} d\theta = \int_0^{2\pi} y^2 d\theta = \boxed{1} \boxed{6} \int_0^{2\pi} \sin^4 \frac{\theta}{2} d\theta$,

$V = \pi \int_0^{2\pi} y^2 \frac{dx}{d\theta} d\theta = \pi \int_0^{2\pi} y^3 d\theta = \boxed{6} \boxed{4} \pi \int_0^{2\pi} \sin^6 \frac{\theta}{2} d\theta$ と表される。ここで、 n を0以上の整数として、定積分 $I_n = \int_0^{2\pi} \sin^{2n} \frac{\theta}{2} d\theta$ の漸化式は、 $I_{n+1} = \int_0^{2\pi} \sin^{2n+1} \frac{\theta}{2} \cdot \left(-2 \cos \frac{\theta}{2}\right)' d\theta$ として、部分積分法を用いると、

$$\begin{aligned} I_{n+1} &= \left[\sin^{2n+1} \frac{\theta}{2} \cdot \left(-2 \cos \frac{\theta}{2}\right) \right]_0^{2\pi} - \int_0^{2\pi} \left(\sin^{2n+1} \frac{\theta}{2} \right)' \cdot \left(-2 \cos \frac{\theta}{2}\right) d\theta \\ &= - \int_0^{2\pi} (2n+1) \sin^{2n} \frac{\theta}{2} \cdot \left(\frac{1}{2} \cos \frac{\theta}{2}\right) \cdot \left(-2 \cos \frac{\theta}{2}\right) d\theta \\ &= (2n+1) \int_0^{2\pi} \sin^{2n} \frac{\theta}{2} \cos^2 \frac{\theta}{2} d\theta = (2n+1) \int_0^{2\pi} \sin^{2n} \frac{\theta}{2} \left(1 - \sin^2 \frac{\theta}{2}\right) d\theta \\ &= \left(\boxed{2} n + \boxed{1} \right) (I_n - I_{n+1}) \end{aligned}$$

すなわち、 $I_{n+1} = \frac{2n+1}{\boxed{2} n + \boxed{2}} I_n$ となる。これと $I_0 = 2\pi$ より、 $I_1 = \frac{1}{2} I_0 = \frac{1}{2} \cdot 2\pi = \pi$,

$I_2 = \frac{3}{4} I_1 = \frac{3}{4} \pi$, $I_3 = \frac{5}{6} I_2 = \frac{5}{6} \cdot \frac{3}{4} \pi = \frac{5}{8} \pi$ から、 $S = 16 I_2 = \boxed{1} \boxed{2} \pi$,

$V = 64\pi I_3 = \boxed{4} \boxed{0} \pi^2$ となる。

解答番号	正解	配点	備考
26	2	2	
27	4	2	
28	3	3	
29	2	3	
30	1	5	
31	3		
32	4	2	
33	2		
34	1	2	
35	6		

解答番号	正解	配点	備考
36	6	2	
37	4		
38	2	4	
39	1		
40	2	2	
41	2		
42	1	4	
43	2		
44	4	4	
45	0		

第4問 (学科別問題) (R/J科志願者選択) 配点: 35点

[1] 右の図において、角 α を求めよ。
 ただし、線分 AB は円の直径である。

【解答】 円周角の定理より、弧 AB に対する円周角 $\angle ACB$ は 90° となり、これより、 $\angle CBA = 63^\circ$ となる。また、円に内接する四角形の対角の和は 180° となるから、 $\angle CBA + \alpha = 180^\circ$ すなわち、
 $\alpha = \boxed{1} \boxed{1} \boxed{7}^\circ$ となる。

[2] 右の図において、角 β を求めよ。

【解答】 $\triangle DAQ$ の外角の1つを θ 、 $\triangle PAD$ の外角の1つを θ' とすると、 $\angle QAP$ はこれらの和と等しいから、 $\angle QAP = \theta + \theta' = 46^\circ + 30^\circ + \beta$ となる。また、このとき、 $\angle QAP = \angle CAB$ で、円に内接する四角形の対角の和は 180° となるから、 $\angle CAB + \beta = 180^\circ$ すなわち、 $76^\circ + 2\beta = 180^\circ$ より
 $\beta = \boxed{5} \boxed{2}^\circ$ となる。

[3] 放物線 $y = ax^2 + bx + c$ は、点 $(1, -3)$ を通り、かつ点 $(2, 6)$ で曲線 $y = x^3 + kx$ と接する。このとき、定数 a 、 b 、 c および k の値をそれぞれ求める。

$f(x) = ax^2 + bx + c$ 、 $g(x) = x^3 + kx$ として、これらを微分すると、 $f'(x) = 2ax + b$ 、 $g'(x) = 3x^2 + k$ となる。したがって、 $f(1) = -3$ 、 $f(2) = g(2) = 6$ 、 $f'(2) = g'(2)$

より、 a 、 b 、 c 、 k に関する連立1次方程式 $\begin{cases} a + b + c = -3 \dots\dots ① \\ 4a + 2b + c = 6 \dots\dots ② \\ 8 + 2k = 6 \dots\dots ③ \\ 4a + b = 12 + k \dots\dots ④ \end{cases}$ が得られる。

③より、 $k = -\boxed{1}$ となる。これを④に代入すると、 $4a + b = 11 \dots\dots ⑤$ となる。

一方、② - ①として、 c を消去すると、 $3a + b = 9 \dots\dots ⑥$ となる。よって、⑤ - ⑥より、

$a = \boxed{2}$ となる。これを⑥に代入すると、 $b = \boxed{3}$ 、さらに、 $a = 2$ 、 $b = 3$ を①に代入

すると、 $c = -\boxed{8}$ となる。

[4] 曲線 $y = x^3 + ax^2 + (2a + 1)x + a + 5$ は、定数 a の値に関係なく、点 P において定直線 l に接する。

このときの点 P の座標と定直線 l の方程式を求める。

$f(x) = x^3 + ax^2 + (2a + 1)x + a + 5$ として、 a について整理すると、 $f(x) = (x^2 + 2x + 1)a + x^3 + x + 5$ となる。これを微分すると、 $f'(x) = (2x + 2)a + 3x^2 + 1$ となる。

ここで、 $f(x)$ と $f'(x)$ の値が、 a の値に関係しない場合は、 a の係数が 0 となるときであるから、そのような x の値は $x = -1$ である。このとき、 $f(-1) = -1 - 1 + 5 = 3$ 、 $f'(-1) = 3 + 1 = 4$ となるから、点 P の座標は、 $(-1, 3)$ 、定直線 l の方程式は、 $y - f(-1) = f'(-1)(x + 1)$ すなわち、 $y = 4x + 7$ となる。

[5] 関数 $f(x) = \int_1^x (2t^2 - 6t - 20) dt$ の極値を求める。

$$\begin{aligned} f(x) &= \left[\frac{2}{3}t^3 - 3t^2 - 20t \right]_1^x \\ &= \frac{2}{3}(x^3 - 1) - 3(x^2 - 1) - 20(x - 1) \\ &= \frac{1}{3}(x - 1)(2x^2 - 7x - 67) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} f'(x) &= 2x^2 - 6x - 20 \\ &= 2(x^2 - 3x - 10) = 2(x + 2)(x - 5) \end{aligned}$$

より、関数 $f(x)$ の増減およびグラフの概形は右の通りとなる。よって、 $x = -2$ のとき、極大値

45 をとり、 $x = 5$ のとき、

極小値 $-\frac{208}{3}$ をとる。

x	...	-2	...	5	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	45	↘	$-\frac{208}{3}$	↗

解答番号	正解	配点	備考
46	1	5	
47	1		
48	7		
49	5	5	
50	2		
51	2	2	
52	3	2	
53	8	2	
54	1	2	
55	1	3	
56	3		

解答番号	正解	配点	備考
57	4	4	
58	7		
59	2	2	
60	4	3	
61	5		
62	5	2	
63	2	3	
64	0		
65	8		
66	3		